

ふれあい通信

2023
9月号



Index

P2 **特集1** 夏祭り in たまふれあいグループ

P5 **特集2** 3事業所合同で事例検討会を行いました

P6 ケアマネ相談室 File 13 たまふれあいグループ連携施設のご紹介 その14

P8 スタッフ紹介 たまレポ! デイサービスふれあい 生活相談員(介護福祉士) 小松 萌

夏祭り

たまふれあいグループ



園児さん、生徒さんも
参加した地域交流を実現

グループホーム登戸新町の夏祭り

グループホーム登戸新町は7月12日、ご入居者のご家族を招待して夏祭りを行いました。2020年6月の施設開設時点で新型コロナウイルス感染症が全国に急拡大していたため、外から人をお招きするイベント自体が初めての取り組みです。地域密着型サービス事業所としての役割を果たすべく、近隣のカリタス女子中学高等学校(多摩区中野島)から生徒さんをボランティアとして招き、開催の準備から当日の運営まで、共に取り組んでいただきました。

また、夏祭りの翌日13日には斜向かいにあるぶどうの実登戸園(多摩区登戸新町)の園児さんをご招待。ご入居者に向けて園児さんにダンスを披露していただきました。園児さんには、夏祭りのために用意した手作りのゲームやお神輿を楽しんでいただき、地域との交流を深める2日間となりました。

夏祭りの舞台裏

カリタス女子中学高等学校 ボランティアの皆さんのご活躍

ボランティアの生徒さんとご入居者、職員が一緒に開催準備を行いました。お面や屋台の飾りを制作したことも、楽しい世代間交流の時間になりました。



カリタス女子中学高等学校の皆さん
川崎市多摩区中野島にあるキリスト教カトリック系の私立中高一貫女子校です。皆さんにはボランティアとして準備段階から精力的にお手伝いいただきました!



DAY2 7月13日 園児さんが来ました!



ご入居者に集まっていた園児さんのダンスを鑑賞。「かわいいね～」の声が止まりません。



夏祭り用につくったゲームに園児さんは大喜び。元気のよい賑やかな声が響きました。



芝生に面した大きな窓からパイパイタッチ。お散歩やプランターのお世話に来てくれるのが楽しみです。

DAY1 7月12日 夏祭り本番



ネイル&ハンドマッサージ
ボランティアの生徒さん発案で、女性にはネイル、男性にはハンドマッサージ。人気でした。



手作り屋台メシ
チョコバナナや焼きそば、ジャンボフランクなど、夏場のため食べ物は早朝から職員が調理して準備したものです。



じゃんけんゲーム
ボランティアの生徒さんとのじゃんけんゲームに勝つと景品のジュースをプレゼント。



フォトスポット
ご家族一緒に記念撮影。職員がカメラマンとなりご家族のスマホを使って撮影しました。

たまふれあいグループのグループホーム登戸新町、デイサービスあいは7月、それぞれで夏祭りを開催。地域の力をお借りして趣向を凝らした夏祭りとなり、ご利用者・ご入居者の笑顔あふれる日となりました。今の特集では、この夏祭りの様子をご紹介します。

ご入居者、ご家族、そして地域との交流で絆を深めた2日間



職員やボランティアの皆さんのご協力もあり、屋台で焼きそばやフランクフルトを提供したり、共にゲームを楽しんだり、施設の中にいるとは思えない臨場感あふれる夏祭りを実施することができました。ご入居者のご家族に招待状をお送りしたところ、ほぼ全員のご家族に来ていただくことができました。これまで面会に制限があったため、家族一緒に楽しみを共有できたことをとても喜んでいただけたと思います。手作りのお神輿前を撮影スポットにしたことで、家族一緒に写真を撮影されていたことはとても印象的でした。

カリタス女子中学高等学校の生徒さんや先生には、たまふれあいグループおよびグループホームの存在を知っていただく良い機会になりました。また、園児さんにとっては初めてお神輿やお祭りのゲームといった夏祭り体験になったお子さんもいらっしゃったかと思います。グループホーム登戸新町の道路に面した芝生には園児さんが植物を育てるプランターを置くことも決まり、芝生に面した大きな窓から園児さんの様子を見守る楽しみが増えました。

グループホーム登戸新町が、今後ますます地域交流の場としても活用されるために、魅力ある施設となる取り組みを進めていきたいと思っています。



デイサービスふれあいの夏祭り

毎年夏が待ち遠しくなるような地域のイベントを目指して

デイサービスふれあいは、認知症対応型通所介護としてたまふれあいの家形形の1フロアでスタート。2021年10月から現在の多摩区生田へ移転して、一般型通所介護としてリニューアルオープンしました。グループホーム登戸新町と同様に、コロナ禍で外部交流が難しい中、2022年に初めての夏祭りを開催。ご利用者と職員だけの催しでしたが、ノンアルコールビールで乾杯するご利用者の楽しそうな様子に職員一同、



来年もまたお会いしましょう!



2023年も開催しようと固く心に決めていました。今年の夏祭りは、7月19日、20日の2日間開催。昨年同様にやきそばやノンアルコールビールなどの飲食やゲームを楽しむとともに、地域のボランティアの踊り手を招いて、盆踊りを披露していただきました。最後は踊りを教わって、ご利用者、職員も参加して円陣になり踊りました。帰りには「楽しかったよ、来年もね!」「ありがとうね!」と、笑顔とともに言葉をいただきました。職員一同「疲れも吹っ飛びました! 来年も今年に負けず良い夏祭りにしたい」と抱負を語っていました。



ボランティアさんによる盆踊り大会は大盛り上がりです! 踊ったり、手拍子したり、とてもいい運動になりました。



飲食は、ノンアルコールやノンアルコールハイ、焼きそば、焼き鳥に、スイカのデザートも。



ヨーヨー釣りや千本引き、お菓子つかみなどのゲームを用意しました。

特集2

たまふれあい居宅介護支援事業所
3事業所合同で
事例検討会を行いました

たまふれあい居宅介護支援事業所は7月19日、ベネッセ介護センター生田(多摩区生田)、ケアマネステーションタウンナース(多摩区菅北浦)のケアマネジャーと合同で、事例検討会を行いました。

他の法人が運営する居宅介護支援事業所と、共同で事例検討会、研修会などを実施していることが居宅介護支援事業所の特定事業所加算(一)の要件でもありますが、お互いの研鑽として、専門職としての横のつながりのためにも有益な場となっています。この2年間、オンラインで行っていましたが、今回のメンバーでは初めて対面での実施となりました。たまふれあい居宅介護支援事業所が抱えている多問題家族のケースについてケアマネジャー10名が意見交換しました(事例の詳細はP6)。

検討会の最後には、ケアマネジャー同士で日頃の業務についても話し合いました。ケアマネジャー不足から区をまたいだケースの依頼が最近増えたこと、通減制や末期のケースにと

う対応しているかなど、共感し合いながらお互いの取り組み方を共有しました。

犬猫を飼っているご利用者が多い中、訪問時に犬に噛まれた経験が複数のケアマネジャーにあったことも、頻度の高さが話題になりました。「訪問中は犬をケージに入れてください」と初回訪問時に伝えていた」と話す事業者もいましたが、訪問に消極的なご利用者の場合、関係性をつくるためにそれが言えないこともあるという意見や、「ケアマネジャーも自分を守るために、こちらが選択できる環境になれば」という声もありました。

一人でご利用者に向き合うケアマネジャーにとって、自分がどうにかしなければと視野が狭くなりやすく、ケアマネジャー同士で集まって話せる機会は貴重だったようです。

介護の力で地域に
確かな貢献を
していきます!

たまふれあい
居宅介護支援事業所は
ケアマネジャー
9名体制となりました

たまふれあい居宅介護支援事業所
管理者・主任介護支援専門員
むらかみ しょういち
村上 洋一

7月に新しいケアマネジャーが入职し、9名体制となりました。当事業所が活動範囲としている「多摩区、宮前区、麻生区」は、慢性的なケアマネジャー不足が問題となっておりますが、主任介護支援専門員の資格を持ったケアマネジャーが2名も増え、とても心強く感じております。

当事業所は「特定事業所加算(一)」を取得し運営しており、主に重介護度者(要介護3・4・5)、困難ケースを積極的に受け入れる多摩区内で唯一の事業所として、一層地域に貢献できる居宅介護支援事業所として運営していきたいと考えております。

当グループで活動している保健活動「まちの保健室」へも参加し、介護で困っている方、これから介護保険サービスを利用する方への相談窓口としても地域貢献できればと思っております。

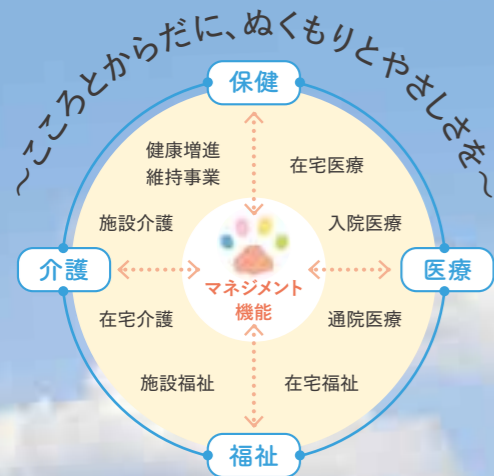
地域で暮らし、 地域で生きる ということ。

人々は地域で暮らし、地域の中で生きています。

世の中がどれほど発達したとしても、
人々の暮らしは地域の中にあります。

そして、たとえどんなに科学技術が進んだとしても、
人が人へ伝えるぬくもりや、やさしさを
超えることはできないと考えています。

だからこそ、私たちは地域に徹底した
こだわりを持ち続けます。



地域の人々の、
よりよい生活と人生のために



たまふれあいグループは、医療・介護・福祉・保健事業を
統合的に展開する医療法人グループです。

- たまふれあいクリニック
訪問診療／専門外来／訪問リハビリテーション
- たまふれあい訪問看護ステーション
- たまふれあい居宅介護支援事業所
- たまふれあいの森
健康相談／セミナー／健康チェック
川崎市多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘2F
- たまふれあいグループホーム 枳形（医療・看取り対応型）
- ナース&ケアハウス ふれあい（看護小規模多機能型居宅介護）
川崎市多摩区枳形6-19-8
- たまふれあいグループホーム 登戸新町（医療・看取り対応型）
川崎市多摩区登戸新町186
- デイサービスふれあい
川崎市多摩区生田3-18-2 アボードベア1F
- たまフレ！（障がい者就労支援事業所）
川崎市多摩区登戸2519-1 ヨシザワ10ビル4F

ケアマネジャーの質問に多職種スタッフが答えます！

ケアマネの 気づき

不衛生なことに目が行きがちでしたが、多問題家族
はそこに至る経緯や家庭の背景など、関係者全員の
生活歴を把握した上でのアプローチが必要だと感じ
ました。私一人が抱え込まず、関係者みんなで少し
ずつ介入していきます。



ケアマネB
補足すると、次女は別居中

の夫と婚姻関係継続中で、十分な
経済支援もあります。本人は一時
期長女夫婦と同居していましたが、
長女の夫とそりが合わず次女と同
居になった経緯があります。長女は



ケアマネA
ご利用者のご自宅が当初

から不衛生でしたが、最近は飼いの
の尿便も処分できずに放置されて
いて、日に日にひどくなっています。
本人家族はとも現在利用中の福
祉用具のレンタル以上の介入は望ん
でいません。本人は要介護4・80代。
同居の主たる介護者は60代の次女、
パニック障害の診断があり、他者の
介入を嫌がります。30代の同居の次
女の娘は重度の知的障害がありま
すが、サービスの利用はありません。
包括・役所とも会議を開催していま
すが、このままで良いのか不安なの
で、事例検討会で皆様の意見を聞か
せてください。



ケアマネA
本人が蜂窩織炎で6月に入

院し、退院時には慢性腎臓病と糖尿
病の悪化予防のために衛生面の確
保の必要性の話があり、一旦はデイ
での入浴の方向だったのですが、退
院前の包括・障害・居宅支援による
大掃除後、デイ利用はなしになっ
てしまいました。

検討結果

以下のアプローチからスタートして
みようという意見がまとまりました。

- ①次女に長女の意見を聞くこと
への同意を得て、長女から家庭背
景の情報収集
- ②次女・次女の娘のケア（次女と
その娘の担当精神科医との連携
他）
- ③次女不在で本人の気持ちを開
く機会の抽出

ケアマネ 相談室 File13

テーマ 多問題家族

考えた！



居宅介護支援の
3事業所ケアマネジャー
Bさん

いつもありがとうございます！

その14

たまふれあいグループ連携施設のご紹介

ホームステーションらいふたまプラザ

☎044-863-9151

サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）



神奈川県川崎市宮前区犬蔵2-12-25
2014年9月開設
事業主体：株式会社らいふ

当日の緊急入居や医療依存度の高い方にも対応

たまふれあい
クリニック
鈴木 忠院長より
おすすめ
ポイント

ベテランの施設長さん、ケアマネジャー
さんがいらっしゃることで、高いマネジ
メントが提供されています。また、サ
高住ですが、比較的医療必要度の高
い方にも対応されています。



▲左から管理者・吉田尚弘さん
「ケアプランがご利用者の希望
通りびしっとはまった時やりが
いを感じます」、中田陽子さん
「より良い方向へプラン変更で
きることが介護職ではできな
かったやりがいです」、恩田裕子
さん「鍼灸師として介護相談を
受けることが多くなり資格を
取って兼務しています」(いずれ
もケアマネジャー)。

当施設は、グループの居宅
介護支援事業所、訪問介護事
業所、デイサービスを併設し
ています。ご入居者が食事や
レクリエーションで集まる
ホールからデイサービスの様
子が分かるので、ご利用され
ていないご入居者も楽しそ
うなデイの様子を感じて興
味を持たれています。
当グループは「生きる力を
引き出す介護」が企業理念で
す。これをコンセプトにした
「新生活サービス」というメ
ニューがあり、ご入居者の要
望を基に月20個のイベントを

併設の居宅介護事業所は
今年、ケアマネジャーを1名
から3名へ増員しました。こ
れまではご入居者のケアマネ
ジメント専任でしたが、これ
からは外部のケアプランにも
着手していく方針です。また、
緊急入居や重度の認知症、医
療依存度の高い方の受け入
れも行って、緊急入居は
相談いただいた当日の入居
希望にも対応しています。

新生活メニュー
企画やブログ発
信など職員が頭
張っています！



神奈川県川崎市
施設長兼
介護支援専門員
(介護福祉士)
えんどう まなみ
遠藤 愛美さん



医療法人メディカルクラスタ TEL:044-931-3380

〒214-0014 川崎市多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘2F 【看護師・介護職募集中!】



インタビュー

デイサービスふれあい

生活相談員
(介護福祉士)

こまつ もえ
小松 萌



毎日リハビリ職が入るのもデイサービスふれあいの良さ。ケアマネの皆さん、よろしくお祈りします！

地域相談室によるスタッフ紹介

たまレボ!

今月のインタビュー

地域相談室 相談員

しんどう ゆり
進藤 優里



こんにちは! たまふれあい地域相談室です。

今回は1月に入職した生活相談員の小松をご紹介します。20歳の時、手に職を付けたいと思い、自宅近くの職業訓練校で介護職員基礎研修(当時)を取得して社会福祉法人に介護職として入職。法人内のデイサービスから在宅のヘルパー、特別養護老人ホーム、そしてまたデイサービスへと異動し、さまざまな介護スキルを身に付けました。10年間在籍した区切りで退職し、韓国へ語学留学をしたそうです。

それまでも、韓国アイドルや韓国ドラマが大好きで年数回、旅行していたそうですが、韓国が好きあまり現地の福祉サービスを知りたくなり、韓国で福祉の仕事をしている日本人を探して、アポを取って訪問。数回お会いする中で、現地のデイサービ

スのボランティアをすることになりました。加えて、学生結婚したため学生生活を謳歌できなかった思いつから、1カ月の語学留学をしたそうです。

現在はデイサービスふれあいの生活相談員として、ケアマネジャーの見学対応や新規ご利用者の契約、既存のご利用者の調整業務、請求業務を担っています。デイサービスふれあいでの良いと思ったサービスは、調理レクリエーションとフラワーアレンジメント、レッドコードだそうです。特にレッドコードは珍しく、ご利用者の体にもいいサービスだと感じています。デイサービスのおもしろさは、ご利用者が日々変わるので毎日がフレッシュなことと話す小松が、皆さんからのご相談をお待ちしています。

普段はインドア。
任天堂のゲームを
連日連夜
楽しんでいます♪



韓国アイドル好き!
推しはSEVENTEEN♡



地域相談室

イケダのっぶやき



みなさんこんにちは! 今月号は、たまふれあいグループの夏祭り特集です(^^) 地域の学校や幼稚園など、たくさんの方を招いての開催なのでとても気合が入っております!



私も参加したかったです...! 来年も乞うご期待ですっ☆



(地域相談室 相談員 いけだ 池田あゆ)



ご相談は下記の地域相談室までお電話ください

044-931-0220

〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1763
ライフガーデン向ヶ丘2F